

BOSTON PUBLIC LIBRARY 所蔵の 日本人名簿 (1871-1876)

敬和学園大学 北 垣 宗 治

ホストン・パブリック・ライブラリーの貴重本保管室に Japanese in Boston Address Book 1871-1876 と銘打ったノートブックがあることを発見したのは1988年の夏であった。それには、大体において読みやすい書体で、日本人の名前かアルファベット順に78人記入されていた。このうち4人が重複して記入されているため、実際には74人か「登録」されていると考えてよい。それぞれの人物に関して出身地、肩書き、留学先、ホストンないしその周辺での現住所、友人関係などか書き込まれているか、記入の詳しさは一樣でなく、簡単に一行だけで終わっている場合もある。1870年代にアメリカに留学した日本人を調へるには重要な資料であると確信し、1990年の本学会の大会でこれについて中間報告した。この中間報告では便宜上、朝比奈一から、山川健次郎までの名前に、記載順に、1から78までの番号をつけた。本稿でもその時使用した番号をそのまま踏襲することにする。

今、名簿はアルファベット順であるといったか、それはAのペーン、Bのペーンの順になっているという意味である。ペーンの中では記入順に番号を打ったので、厳密な意味でのアルファベット順ではないことをお断りしておく。また月名の略し方や、省略記号の有無、州名の省略の仕方等、統一性に欠けているか、これは原文通りにした。例えば4月は Apl とも Apr とも書かれている。2箇所だけメモが挿入されていた。[33] 森誠太郎の箇所と [53] 岡部長職の箇所である。これから推察すると、この名簿の作成者はこのようなメモを書いてもらった上で、自分のやり方でこのノートに清書することを原則にしていたようである。

私かこのリストに興味を抱いたのは、アメリカ時代の新島襄を研究してきたからである。新島襄は1865年7月から1874年10月まで、主としてアントワーヌ、アーモスト、またはホストンに住んでいたわけて、このリストの中の何人かとは親交があった。

しかしこのリストに彼の名前は見あたらない。それは、幕末にまだ外国への自由な渡航が禁じられていた時期に、その禁を冒して単身脱国したので、いわば「日本政府のお尋ね者」であるとの自覚から、慎重に身を処していたためであると考えられる。しかし、このリストには森有礼や田中不二麿の名も見あたらない。

1990年の本学会中間報告では78人の名前をA3の用紙に全部タイプし、一行以内に当該人物に関するノート記載の情報を要約するとともに、サンプルとして選んだ9人については、ノートに記入されていることをテキスト化して紹介した。歴史上著名であるため、敢えて説明する必要のない名前、例えば[2] 団琢磨、[19] 伊沢修二、[23] 金子堅太郎、[27] 小村寿太郎、[30] 目賀田種太郎、[53] 岡部長職、[66] 富田鉄之助、[78] 山川健次郎、などがある反面、全く見当がつかず、したがって、どんな漢字を当てはめたらよいかかわからないもの（たとえば[64] Tachibana は橘？立花？）、また漢字を当てはめることができて、何者であるのかかわからない人があった。

これを発表したとき、その場で会員の長岡祥三氏から、「[40] Nagaoka M. Y. とあるのは私の祖父の長岡護美（もりよし）です」とのご教示を頂いた。その後福永郁雄氏から、私にわかっていなかった三人についてご指摘頂いた。しかし、私の作ったリストを徹底的に、それこそシラミツブシに調べ上げ、74人中65人までを特定して下さったのは西岡淑雄先生であり、私は西岡先生に対して心から謝意を表すものである。西岡先生のご好意に対しても、早くこの報告を完成して発表する義務があると考え、1997年9月に、改めてボストン・パブリック・ライブラリーまで足を運び、二度目の照合を行い、その上同図書館からノートブックの内容を発表することの許可を得た。

1988年の段階では、貴重本保管室では、この名簿はどういういきさつで、誰が、何時この図書館に寄託するようになったか全く不明、ということだった。ところが9年後の1997年では、もう少し情報が増えていた。これを書いたのは多分、Charles Knapp Dillaway という、Boston Latin School の校長だった人であろうというのである。しかし、ディラウエイに関する情報も極端に少なく、記入者がディラウエイであるとしても、なぜ彼がこのようなものを作るようになったのかといういきさつまではわからない。ノートブックの大きさはいわゆるフォリオ判で、製本されており、製

本の日付を表すと思われる、裏表紙に押されたスタンプは Sep 30 1915となっていた。また古いカードで Japanese in Boston: Address Book 1871-1876であったものが、新しいカードではいっそう詳しく、Address book of Japanese in Boston and other places in the United States. Boston. 1871-76. 45p. Probably compiled by Charles Knapp Dillaway (1804-89)とあり、コール・ナンバーはMS. Res. 2381.17 FOLIOである。

今回ディラウェイという名前が浮上したが、それまでにも私は、これを書いた人はアメリカ人に違いないと見ていた。日本人が記録者であれば、姓と名を取り違えることは先ず考えられないが、この名簿ではたまにその混乱がみられるからである。たとえばすでに挙げた [40] Nagaoka M. Y. は [31] Mori Yashu Nagaoka と同一人物であるが、これは、記録者であるアメリカ人に、どれが姓で、どれが名であるかがわからなかったために生じた混同である。

1871年～1876年といえは明治4年から9年にわたるのであり、日本名のローマ字表記法はまだ確立していなかった。見事にヘボン式綴り方をを用いている [8] Hashiguchi Sogi とか、[27] Komura Jutaro, [41] Nawa Michikazu のような例もあるが、ずいぶん苦心の跡がみられる、ほおえましい綴りもある。たとえば [4] Ekeda Norimace, [11] Hongma Aichiro, [12] Hyashi Gionsky, [20] Koonitomo Ziro, [53] Okabay Nagamoto などである。また、アメリカ人はよくミドルネームを持つので、日本人は自分の別名をミドルネームにしてみたり、また4シラブルのいかめしい given name を二つのイニシャルにして用いたりしている。その例は [9] Hotta Akera Shonoski, [31] Mori Yashu Nagaoka, [33] Mori (Seitaro) Haryosh Seitaro, [37] Nakahara Fumi no Suki, [56] Shimadz Matanosin T., [64] Torie Tada B., [67] Tegima S. Y., [78] E. M. Yamada などである。

この名簿で興味深いことの一つは、それぞれの間関係をかなり明らかにしてくれることである。74人のなかで身分が最も高いのは何ととっても [55] 清水(徳川)篤守 (1856-1924) で、彼は御三卿の清水徳川家の第7代目で「従五位」と呼ばれていた。1871年に15歳で私費留学しているが、この名簿には「お供」らしい人が9人挙げられている。すなわち [1] 朝比奈一, [9] 堀田頭, [10] 平岡熙, [12] 林純佑, [25] 近

藤環一, [33] 森誠太郎, [50] 小野寺系介, [65] 富永冬樹, [68] 多久シゲヨシ, である。しかも、この「清水組」の中でも堀田顕（正顕、璋之助）は従者というより、旧佐倉藩主堀田正睦の子息であり、清水の友人ととる方が適当であろう。林純佑はこの堀田の従者である。しかし、アメリカ人の記入者は、「一緒にやってきた」という表現をとっている。

1870年代にアメリカに行くには、基本的には裕福な人でなければならなかった。リストでは、すくなくとも13人は御三卿か、旧藩主か、その親族である。御三卿の一人だった清水篤守を頂点として、彼と親しかった旧佐倉藩主の子息、堀田顕、福岡藩第12代藩主 [22] 黒田長知、岸和田藩主 [53] 岡部長職、日向国佐土原藩主 [56] 島津忠亮と、その弟で大村家の養子となった [32] 丸岡武郎（＝大村純雄）と、もう一人の弟で明治10年9月に西南戦争で戦死した [34] 町田啓次郎、下野国壬生藩主 [64] 鳥居忠文、陸奥国七戸藩主 [46] 南部信方、岩国藩主の弟 [26] 吉川重吉、熊本藩主の末裔である [40] 長岡護美、米沢藩主上杉家の一員である [5] 畠山長平（＝上杉勝賢）、岡山池田氏の分家で、一時播磨福本藩主であり、廃藩後鳥取藩に移った [4] 池田徳潤がこの中に入る。

維新直後には、各藩に二人ずつ留学生を海外に派遣するようにとの新政府からの指令が出たようで、すべての藩がこの指令を実行できるだけの資金がねん出できたわけではなかった。リストの中から明らかに藩の留学生といわれる人々を拾うと、肥後藩の [18] 伊勢佐太郎, [20] 国友次郎, [60] 津田静一、鳥取藩の [4] 池田徳潤, [7] 原六郎、筑前藩の [11] 本間英一郎、尾張藩の [42] 永井久一郎（荷風の父!）、盛岡藩の [45] 南部英麿、佐倉藩の [58] 佐藤百太郎、鹿児島藩の [71] 湯池右衛門、佐土原藩の [6] 平山太郎, [8] 橋口宗儀などがある。佐土原藩は藩主の [56] 島津又之進と二人の弟も送っているのだから、その努力ぶりは賞賛に値しよう。国費留学生としては開拓使派遣の [72] 山尾常太郎と [78] 山川健次郎、大学南校から派遣された [30] 目賀田種太郎と [76] 矢田部良吉、文部省第1回留学生の [27] 小村寿太郎、以外に [13] 服部一三と [66] 富田鉄之助がいる。これに対して、私費留学生と思われる者は [37] 中原国之助, [67] 手島精一と [65] 富永冬樹である。

兄弟の留学も幾組がある。佐土原藩主とその二人の弟についてはすでに述べたが、

それ以外にも [15] 岩男俊貞と、その弟でモンソン・アカデミーからイェールへ行ったと推定される [16] 岩男三郎, [65] 富永冬樹と [75] 矢野二郎がある。

岩倉使節団が渡米したときのアメリカ号に乗船していた華士族は54人いたが、その中で少なくとも8人はこのリストに入っている。すなわち [22] 黒田長知, [23] 金子堅太郎, [2] 団琢磨, [64] 鳥居忠文, [21] 日下義雄, [26] 吉川重吉, [62] 土屋静軒, [61] 田中貞吉である。このときには開拓使派遣の日本初の女子留学生5人も同船していたが、その一人、山川捨松はもちろん [78] 山川健次郎の妹である。

明治初期の日本人の健康状態や寿命を反映して、若死にの人もあり、何人かについてこのノートは本人が死んだことも伝えている。その例は [5] 畠山長平 (= 上杉勝賢) で、鉛筆書きで Died. と最後に書かれている。[9] 堀田頭の場合は He died Oct. 8, 1875. と記入されている。死亡に関する同様な注釈は [18] 伊勢佐太郎, [34] 町田啓次郎, [41] 名和道一にも現れる。

このノートが興味深いとすれば、当時の留学生たちがどんなところに下宿していたかがわかることである。いくつかの下宿の名が繰り返し現れる。これはまた留学生たちの交友関係をも暗示する。また Roxbury, Dorchester, Newton, Concord などにも当時の留学生はさかんに下宿していた。

最後まで正体をつかむことのできなかつた名前は次の9人である。ご教示をお願い申し上げるとともに、私自身今後の宿題とするつもりである。[24] Kodama, Jiro [35] Midzuoka Takeo [36] Nakashima [44] Ninomiya Y. [47] Nakawara Gisaburo [48] Nakayama K. [69] Tachibana Kanichiro [70] E. M. Yamada [74] Yokoi T. 最後の横井 T. については熊本の横井大平ではないかというサジェスションを下された方もあったが、彼は1869年7月には帰国し、1871年に病死しているし、またハートフォードとの関係はちょっと考えられないので、私としては横井大平説を取らなかった。[68] 多久シゲヨシは、私として自信があるわけではない。これは清水篤守の従者であった多久乾一郎の別名であると推定した。

このリストに出てくる人々と新島襄との関連に触れて、拙文を結びたい。新島は

1871年9月5日付の父民治あての手紙で、ボストンにおいて因州藩大参事の池田徳潤に会ったことを報告している。池田は江戸の川田塾で学んだ人であったから、新島には特に懐かしかった。彼は弟の双六のことをいろいろと池田に訊ねたようである。しかもこの訪問の機会に、新島は池田の同藩の〔7〕原長政にも会い、さらに佐土原の「大公子」島津忠亮、さらに「清水様従五位御嫡子」にも親しく会ったのであった。日本ではとても対面できないような、こうしたお歴々に会ったことを父親に報告する新島は、ひたすら父を喜ばせたい一心からであったように思われる。清水については「僅十五才ニ被成候而、亜国に修業ニ御出被成候」と述べ、彼らからことのほか丁寧に取り扱われたと報告している。(『新島襄全集』第3巻91ページ)

新島は帰国後、旧岸和田藩主で、マサチューセッツ州スプリングフィールドで勉学中だった岡部長職からの英文の手紙を受取り、アメリカでクリスチャンとなった岡部が、岸和田の人々にぜひ福音を伝えてもらいたいとの要請をうけ、その依頼を果たすために、何度か岸和田に出かけ、立派に福音の種を蒔いたのであった。藩の家老職にあった山岡家からは、のちに同志社で学び、立派なクリスチャンとして、また牧師夫人として活躍する人々を出した。新島にとって富田鉄之助は仙台の東華学校を設立するときの最も重要な協力者であった。若い頃の彼の親友であったと考えられる杉田廉卿の夫人縫は、夫の死後かなりの時を経たのち、富田鉄之助と結婚しており、彼女は『クララの明治日記』にも登場する。ただし新島は富田縫夫人にはほとんど言及していない。

最後に富永冬樹は、やはり新島の若い頃の友人だった「外務小丞田辺太一厄介」という資格で明治4年4月に自費で渡米した人で、のちに京都の始審裁判所長、大審院部長をつとめた人だが、京都で新島の遺体に対面したときのもようを目撃した人が、富永について、新島伝の著者A. S. ハーディーに向かってこのように語ったという。「愉快なひとで、いつもすぐに何か面白いことを言う人でした。彼は非常にゆっくりと家に入り、柩の安置されている部屋に入る前に外套を脱ぎました。それで、彼が礼服を着ていたことがわかったのです。彼は非常に大人しく部屋に入り、最敬礼をしました。それから、まるで生きてる人に語りかけるかのように、『新島さん。あなたが生きておられたときには本当にお世話になりましたなあ。もっと多くのことができなくてすみませんでした。将来はきっと、もっとよいことをしますからなあ』と言っ

たのです。そして子供のように涙を流しながら出て行きました。】(『新島襄全集』第10巻356ページ)

以下はそのノートをできるだけ忠実にテキスト化したものである。

JAPANESE IN BOSTON: ADDRESS BOOK 1871-1876

Address book of Japanese in Boston and other places in the United States.
Boston. 1871-76. 48p. Probably compiled by Charles Knapp Dillaway

[1] Aoshina [sic] H. [朝比奈 一]

Came with Mr. Shimidzu. At Mr Allen, West Newton. Apl 17, 1873.

Removed to No 4 Mt Pleasant Place, Roxbury. Mr Boynton's, Aug 1, 1873.

Care Rev. Wm Hutchinson, Norwich. P.O. Box No. 1517 Norwich Connt.

Sep 17, 1875 No 19 W 10th St N.Y. City.

Nov 1875 — No 62 W 22 St N.Y. City.

Feb 7/76 No 33 Clinton Place, N.Y.

June 6 No 7 West 32 St N.Y. No 20 West 32 St N.Y.

Oct. '74 No 30 Great Jones St N.Y.

Pret Natl Bk — Tokio Manager, Sata gumi

[2] Dan Takuma [団 琢磨]

Chikuzen — came with Mr. Kuroda, March 1872. No 222 W Springfield St.

Dec 1, 1873 Care L.S. Burbank, Warren Academy, Woburn Center, Mass.

July 1875, 43 Baldwin St Cambridge, Mass.

Oct 1875 21 Dover St

Sep 1876 — 12 Dartmouth St

Oct 1877 — No 2 Wyoming St, Highlands

May 1878 · 183 Warren Ave, Boston

Suginen — Apr. 1880 Oraku

[3] Enouye Roksaburo [井上六三郎]

Aug 30 129 W: Newton St

Oct. 1872 at Cambridge College, No 10 Holyoke House

Mr. Enouye died at Tokio. —see Tokio Times Feb 1, 1879.

[4] Ekeda Norimace (see Ikeda) [池田徳潤]

June 11, 1872 No 84 Wall St, New Haven, Connt

[5] Hatakeyama, Chiohe (or Uyesugi, real name, son of Prince of Uzen)

[畠山長平=上杉勝賢]

June 1, 1871 Monson, Mass. removed to Inlbraham [?] Academy, Mch 1872

Died

[6] Hirayama Taro [平山太郎]

July 1871 Studied at Andover

May 72 at Norfolk House, Roxbury

at Mr Shearer's, Andover, Mass.

Oct 25'73 — 316 Indiana Ave Washington D.C.

Nov 2, 1873 Address No 425 4th St 12 W Washington D.C.

Left Boston for Liverpool May 5, 1874. Steamer Marathon with Mr. Onodera.

[7] Hara N. [原 長政=原 六郎]

Tottori Han came [blank] 1871

Apl 1, 1872 at No 377 Columbus Avenue at [illegible] Mr. Chaffin's.

Nov. '72 at Rev. N.S. Folsom's, Concord, Mass.

May '73 29 High St, New Haven, Connt

Jay 1874 — No 189 George St N. Haven

Left Boston for L.pool Apl. 1874 with Mr. Nagaoka.

(Prest 100 Nat Bk — Tokio)

[8] Hashiguchi Sogi [橋口宗儀]

Sadowara, Hiuga. Came 1869, studied at N Haven.

June 1872 at Norfolk House with Mr Hirayama.

June 14 '72 No 138 College St N Haven

Ret to Japan, Oct. 1872

Home Dep. — Tokio?

[9] Hotta Akera Shonoski [堀田 顯 = 堀田璋之助]

Sakura, Shimosa. Came with Mr. Shimidzu, Aug. 1872.

at Highland Milty Academy, Worcester.

Roxbury No 280 Dudley

at Tufts College, College Hill, Mass.

Nov. 11 [?] 1873 left for Japan with Mr. Hyashi: —

address K. Isekatzu Care Jiber & Brennard, No 90 Yokohama, Japan.

He returned to Japan Nov. 1873

He died Oct. 8, 1875

[10] Hiraoka Hiroshi [平岡 熙]

Yedo. Came with Mr Shimidzu

At Miss Boynton's, No 1 Mt Pleasant Place, Roxbury

May 1873 — No 280 Dudley St

Nov. 1873 P.O. Box No 1517 Norwich, Connt

Jany 13, 1874 Care Mr. Aretas Blvd Manchester

Locomotion Works, Manchester, N. H.

Dec. 9 — No 41 West Newton St Boston

Went to Japan Nov. '76

R.R. Dept. Tokio Apr 80

[11] Hongma Aichiro [本間英一郎]

From Fukoka, Chikuzen

At Mr. Hillard, No 114 Chauder St

Set to Japan — Engineer Kobe RR Dept.

[12] Hyashi Gionsky [林 純佑]

Came with Mr Hotta & Shimidzu (at West Newton) and left for home with Mr. Hotta. Nov 1873

[13] Hattori Iichizo [服部一三]

Box 18 New Brunswick, N. J.

Adopted son of Mr. Nawa. —at Boston, Dec. 17 & 24, 1873.

Director Govt School Ozaka

[14] Hanabusa [花房義質] Minister Corea

[15] Iwao, Toshi Sada [岩男俊貞]

Higo, Kumamoto-ken, friend of S. Tsuda's.

April 1872. address care W.B. Dwight, New Britain, Connt.

Removed to 23 Elm Place, Brooklyn, N.Y.

Oct. 2 Removed to 141 St Felix St, Brooklyn, N.Y.

Ret to Japan. address [blank]

[16] Iwao Saburo [岩男三郎]

Brother to T.S. Iwao. —Monson, Mass.

Apl 1872 (Candt Converse)

Dec 1873 No 84 Wall St New Haven, Connt

[17] Ikeda (see Ekeda) Norimace [池田徳潤]

84 Wall St N. Haven Connt

Care Revd I.S.C. Abbot, Fair Haven, Connt

[18] Isé Sataro [伊勢佐太郎=横井佐平太]

From Kumamoto, Higo.

Calld Aug 2, 1871 at home to dine — has studied N.J. then to Japan and again here.

Oct. 1872 with Mr. Nagaoka & Mr. Iwao. — at Revd I.N. Tarbox, W. Newton

May 10 Mr. Ise goes to Washington (Legation)

May 28 address No 316 Indiana Avenue, Washington

Dead

[19] Isawa Shiuje [伊沢修二]

Chikuma, Shinano

Arrd 1875 Aug 27

Normal School, Brighton, Mass.

No 15 Mt Auburn St Cambridge, Mass.

Director Musical Dept

Education Dept. Tokio.

[20] Koonitomo, Ziro [国友次郎]

From Kumamoto, Higo (called at first Nada at Monson, Mass.

Care H. Newton July 1 1871 — May 21 1872

at N Haven, No 494 Chapel St., 84 Wall St

Lieut, Navy

[21] Kusaka, Yoshio [日下義雄]

Yamaguchi, Chioshiu. Called May 11, 1872.

Has been studying with Geo. A. Hill, Southport, Connt

Norwich Connt

Apr '80 London

[22] Kuroda, Nagatomo [黒田長知]

Fukuoka, Chikuzen — arrd at Boston, March 2, 1872.

Boards 59 Clarendon St at Mr Huzzy's.

May 12 '72 S Folsom, Concord, Mass.

No 14 Boylston Place Sept 1874

No 519 Columbus Avenue

Oct. 1 — No 90 Appleton St
41 Union Park, 86 Appleton St

[23] Kaneko Kentaro [金子堅太郎]
Came with Kuroda, Mch 1872.
717 Cambridge St., Cambridge
Boards 222 N Springfield St
May 1 1874 No 607 Tremont St.
Nov. 17, 74 12 Dartmouth St
Oct 21/76 No. 46 Trowbridge St. Cambridge
Sec'y Jap. Senate

[24] Kodama, Jiro
Has been studying at North Hampton, NH
Came May 9, 1872 with Mr Hirayama. Norfolk House.
removed to N Haven. set to Japan
Army (with Saigo?)

[25] Kondo [近藤環一]
Came with Mr. Shimizu's party.
At Mr Allen's school. W Newton & set to Japan, 1872.

[26] Kikawa, (Chiokitchi) [吉川重吉]
Iwakuni, Suwo. Concord, Mass w. T. Tanaka
May 2/74 — No 293 Columbus Avenue
May 8/75 No 238 West Canton St
Oct 4/79 No 23 Malthus, Cambridge, Mass.

[27] Komura Jutaro [小村寿太郎]
Came with Mr Megata
Aug. 1875 at Mrs. Barnards, No 46 Trowbridge St, Cambridge

[28] Kikuchi, Takeo [菊地武夫]

Came with Mr. Megata. Aug. 1875.

No 16 Worcester St. at Mr. E.A. Smith, Van Winkle St, Dorchester.

Jay '77 Mrs. Thomas, No 366 Columbus Ave.

1316 Washington St.

Oct 1879 69 Montgomery St. Boston

[29] Kurino Shinichiro [栗野慎一郎]

Aug. 1875 — Oct at Mrs. Buckingham's, Northboro, Mass. Box 94

Oct 1875 No 34 Dover St

Apl 1876 117 Chauder St

Oct 1876 139 W. Newton St

Nov 16 " 183 Wassen Ave

Fey 9 30 Stanford St

Nov 32 Berench Park

Apl 218 Walnut Ave, Roxby

Apl 1878 No 65 Oxford St, Cambridge

[30] Megata, Tanetaro [目賀田種太郎]

State or Suruga, has been at Troy, N.Y.

Sep 11, 1871 — at Allen Bwc school

West Newton, Mass. Aug 5/70

at Mrs Fisher Thayors No 21 Nont Avenue, Cambridge

Removed to 10 Holyoke House Sept 21st 1872

June 18, 1874 Leave for Japan — will be at Troy NY

No 68 State St until July 2/74

82 Montgomery St. Boston

[31] Mori Yashu Nagaoka (See Nagaoka) [長岡護美]

Friend of T.S. Iwao. Apl 20, 1872

Care Mr Isaac N Carleton, New Britain, Connt

[32] Maruoka T [丸岡武郎=大村純雄]

Sep 1, 1874 — Cambridge Scientific School

No 69 Mt Auburn St Mrs. Anderson's

Called with Mr. Hirayama, June 25 '72. Has been at Providence R.I. & now going to Norwich, Connt. Oct '72 No 28 Fountain St, Highlands

(Tokio) Apl 80

[33] Mori (Seitaro) Haryosh Seitaro [森 誠太郎]

Yedo. Came with Mr. Shimidzu 1871

At Miss Boynton's No 1 Mt Pleasant Place, Roxbury

April 17, 1873 Left for Worcester Mass. to study Mechl Engineering

Care J.H. Osgood No. 36 Boynton St

Fey 1874 Box 292 Woburn Centre, Mass.

No 6 Centre St Roxbury

Aug. '76 — No 801 West St., Wilmington, Del.

[The following memo inserted.]

Haryosh Fujiwara Saitaro Mori

23 Midori-Cho Ittchome Yokocho

Honjo, Tokio, Japan

Oct. 15, 1917

H. Mori

Govt. Teleg. Dept

Siodome, Tokio, Japan

大日本
東京府下
本所

緑町老丁目横丁

式拾三番地

森明善

[34] Machida Keiziro [町田啓次郎]

(June 1873) Brother of Shimatz (Soffied, Con) and Maruoka

(Roxbury) lives at Greenfield, Mass. friend of Mr. Hirayama

Naval Academy — Annapolis, Md

(Died ubellin [?])

[35] Midzuoka Takeo

July 1874 Care L.S. Binbank
Worren Academy, Woburn, Mass. P.O. Box No 292
June 26 — No 6 Centre St Boston Highlands
Dec. 1875 41 West Newton St
" 218 Walnut Avenue, Roxbury

[36] Nakashima

Friend of Mr. Hara, met him at Spinglu House, N.Y. Feb 28, 1872
Member, Jenah-Japan

[37] Nakahara (Fumi [sic] no Suki) real name Uyesugi [中原国之助]
Yamaguchi, Chioshiu. Monson, Mass.
June 1871 At Beloit, Wis. Aug 29, 1872

[38] Nada Ziro [灘 次郎=国友次郎]

See, Koonitomo Monson

[39] Nishikawa Tomoi [sic] [西川友喜]

I-i-zu — Came from San Francisco with Mr. Kuroda, Mch 1872
No 1 Mt Pleasant Place, Roxbury
Went with Mr. Okubo of Embassy, Aug. 6 1872

[40] Nagaoka M. Y. [長岡護美]

Friend of T.S. Iwao (Apr. 20 1872)
Care Mr Isaac M Carleton, New Britain, Connt
Oct at No 377 Columbus Avenue, Boston
Sep 29 1837 [sic] — 316 Indiana Avenue, Washington D.C.
Retd to Japan Apl 1874

[41] Nawa Michikazu [名和道一]

Dec. 2, 1872 Introduced by Mr. Mori.

Residence No 298 Showmat Av.

Sept 73 No 11 Dedham St

died Dec. 17, 1873

[42] Nagai Qichiro [永井久一郎]

No. 11 W. Dedham St

Jany 1873 Returned to Japan via S Francisco 1873

Home dep—

[43] Nagai — now Yoshida [永井五百介 = 吉田清成]

Appointed Minister at Washington, Nov. 1874

[44] Ninomiya Y.

July 1875 At Mr. E.A. Smith's, Van Winkle St, Dorchester

[45] Nambu, H. [南部英麿 = 大隈英麿]

Ap. 8/76 came with Mr. Kikuchi

at No 16 Worcester St

Box No 247 Princeton N. Jersey

now Hidemaru [sic] Okuma

[46] Nambu Nobukata [南部信方]

Oct 1876 — at Mr. E.A. Smith's, Van Winkle St. Dorchester

Nov. 17/77 Mrs. Stevens, No 183 Warren Avenue

183 Warren Ave. Boston

[47] Nakawara Gisaburo

from Iwakuni, Suwo, Yamaguchiken

Sep 21/77 Mrs. E.A. Smith, Van Winkle St. Dorchester

Oct 1878 — No 102 Prospect St. Cambridge

(c/o M Hy Dwight) (Boston —

[48] Nakayama K.

July 1877. At Cambridge. No 16 Dunstun St, Cambridge

July 1878 No 5 Linden St, Cambridge

78 Mt Auburn St. Cambridge

[49] Nambu, Kiugo [南部球吾]

(Ichizen) Sep 1878 at No 32 Bexcrick Park

Mch 5 62 West 12th St N.Y. Columbus Ave Ap 1880

[50] Onodeara M. [小野寺系介]

Came with Mr. Shimidzu, and at Mr Allen's W. Newton.

Studied paper-making — Apl 17 1873

Went to study with G.B. Holbrook, Hampton Paper Co., Holyoke, Mass.

[51] Ota Yunei [太田雄寧]

Yedo. Arrived May 5, 1873 with letter from Mr Tomita.

At No 1 Mt Pleasant Place, Boston Highlands.

Returned in a short time to Oakland, Cal.

[52] Otori Gul [?] (Keiski) [大鳥圭介]

Sept 16 1873 Arrid at Boston with letter of introduction from Consul

Tomita & Yoshida (formerly Nagai) Has been to England with Nagai.

[53] Okabey Nagamoto [岡部長職]

Ap/76 came with Mr Kuroda & Torie of Andover who is his uncle.

Residence 359 Central St Springfield.

[The following memo inserted.]

Nagamoto Okabey, Springfield.

Call with Mr. Kuroda & Mr. [blank] March 25, 1876

[54] Saisho A. T. [税所長八]

Care of P. Allen, West Newton, Mass.

Oct 1872 At Mr Allen's school, W Newton

Mr. Saisho left for Japan by the steamer from San Francisco, Feb. 1, 1874

[55] Shimidzu, A. [清水篤守]

Apr. 4 1873 at No 78 Pinkney St at Mr. Kellogg's.

July 29, 1873 Care Revd Wm Hutchinson, Norwich, Connt, Box No 1517.

Sept 17, 1875 No 19 W 10th St N.Y. City

June 11 76 No 7 W 37st N.Y. City

Oct 1876 30 Great Jones St. NY

[56] Shimadz Matanosin T. [島津又之進忠亮]

Brother of Mr. Maruoka. Care Dr Ives, Soffied, Connt

[57] Shirane, S. [白根貞藏]

No 17 Elm Place, Brooklyn, N.Y.

Calld Boston Mch 6, 1874 — Aug. 25/74.

Direct to Consulate, N.Y.

[58] Sato Momotaro [佐藤百太郎]

June 1875 — No 113 Duane St N.Y.

Residence No 62 W 22 St N.Y.

[59] Saito Shiuichiro [齋藤修一郎]

Came with Mr Megata, Aug 1875. No. 22 Bowdoin St.

Apr 76 — at Mr. E.P. Dolbeare, Richardson St, Newton, Mass.

Aug. 18/76 — No 6 Centre St

Oct 4/75 — 218 Walnut Ave, Roxbury

Sept 15 '78 Care or Messers. Westg Gould No 34 School St Room

Nov 6th 1880 Gaimusho Tokio Japan

[60] Tsuda, Sayeachi [津田静一]

Kumamoto, Higo. Monson, June 1871 — May 21, 1872.

removed to N. Haven No 494 Chapel St

July 1872 81 Wall St N. Haven

Sept 2 1872 No 138 College St

Tokio. Chinese scholar

[61] Tanaka T. [田中貞吉]

City of Iwakuni, State of Suwo.

Came Feby 1872 with Embassy.

at Rev N.S. Folsom's, Concord Mass. with Kikawa & Tsuchiya

May 2/74 293 Columbus Ave.

May 8 1875 at Mr E.A. Smith, Van Winkle St. Dorchester

[62] Tsuchiya, S. [土屋静軒]

Same as above. — Sep 1 1872, at 222 Springfield St. Boston

No 66 West Cedar St., No 73 Reval St.

Aug 29/75 No 66 Church St

Oct 10/75 No 69 Myrtle St

[63] Takaki Samro [高木三郎]

Apr 1873 — Chargé d'affaires ad intm Washington, DC Japanese Legation

1877 Japanese Consul at San Francisco

[64] Torie Tada B. [鳥居忠文]

Oct 1874 — at Andover Academy. He came out with Mr Kuroda, was some time in Michigan. Knows Mr Hirata.

[65] F. Tominaga (Tominaga Furiki [sic]) [富永冬樹]

Came with Mr Shimidzu's party to Boston 1871. Left for Europe Apl 1872 with Genl Yamada of Japanese Embassy Apl 1872

Letter from him, Paris, April 19 gives address. Legation Japonaise
No 26 Avenue de la Reine Hortense, Paris.

[66] Tomita, T. [富田鉄之助]

Appointed Consul of Japan at NY May 1872.

address Care Mr. Wakayama 139 West 14 St N.Y.

[One line illegible]

Aug 6/72 at No 35 E 9th St N.Y.

June 1873 No 45 Exchange Place, N.Y.

Oct 1873 Residence No 165 W 23 St

June '75 No 7 Warren St

[67] Tegima S. Y. pronounced Tejima [手島精一]

Studied at Philadelphia. left Boston for England with Mr Oki & Abe of the
Japan Embassy. address July 1, 1872 Care of C.J. Furnuall, Frog Grove, Nr
Enilford, Eng. friend of Mr Hara.

[68] Taku Shigeyoshi [多久シゲヨシ]

Came with Mr Shimidzu — May 1873, went to Worcester with Mr Mori,
36 Boynton St, Wor.

[69] Tachibana Kanichiro

May 2/76 friend of Mr Kuroda's at same house with Mr. Kaneko,
No 12 Dartmouth St

[70] E.M. Yamada

No 44 Mt Auburn St Cambridge at Mr Bullard's.

Aug. 2, 1872 address Care Mr. J.T. Brakeley, Bordentown N.J.

Room No 6 Court House, Boston

[71] Yuchi Ziyemon [湯池治右衛門=湯池定基]

of Satsuma, Amherst Agricultural College, June 1871.

[72] Yamao [山尾常太郎]

student of agriculture, speaks Dutch.

Called with Mr. Hara Apl 22, 1872. Has been studying at Amherst.

[73] Yura, M. [由良守応]

Assistant Comm. Agricultural Bureau. Called with Mr. Nakashima of N.Y.

(Mr. Hara's friend) June 27, 1872.

[74] Yokoi T.

Hartford Connt.

[75] Yano G. [矢野二郎]

June 21/73. Secretary, Japanese Legation, Washington, D.C. He is brother to Mr Tominaga.

[76] Yatabe R. [矢田部良吉]

Cornell University, Ithaca N.Y. Called with Mr. Nawa July 21/73

[77] Yoshida, formerly Nagai [吉田清成=永井五百介]

Commissioner of Finance — 1873. Appointed Minister to U.S. Nov. 1874.

[78] Yamagawa Kenjiro [山川健次郎]

29 High St N. Haven. Friend of Mr. N. Hara's.

see P/card from him July 4, 1875.

JAPANESE IN BOSTON: 1871-1876

Muneharu Kitagaki

In the summer of 1988 I happened to discover the existence of an address-book entitled “Japanese in Boston: 1871-1876” —kept in the rare book section of the Boston Public Library. Apparently the notebook was kept by Charles Knapp Dillaway, one time Principal of Boston Latin School. Seventy-eight Japanese names are listed, of which four are duplicates due to confusion of family and given names. Of the 74 names, 65 have been so far identified. Actually we find such “big” names as: Dan Takuma, Izawa Shuji, Kaneko Kentaro, Komura Jutarō, Megata Tanetaro, Okabe Nagamoto, Tomita Tetsunosuke, and Yamakawa Kenjiro. Others are less wellknown, but still identifiable. Usually the name is accompanied by his address, together with other information such as his dates of arrival and departure, present whereabouts, and names of his friends. Thus the notebook, herewith textualized for the first time by courtesy of the Trustees of the Boston Public Library, may offer useful information for historians who are interested in the early Japanese who went to Boston and other American cities for study or inspection—in search of new knowledge and technology for new Japan.